

平成27年2月定例会付議予定議案



招 集 日

平成**27**年**2**月**19**日(木)

議 案

54件

〔 予算(21)、条例(23)、事件議決(8)、
基本的な計画の策定等(2) 〕

【主な内容】

- 平成27年度一般会計予算
- 平成26年度一般会計補正予算（国の緊急経済対策に対応）など



平成27年度当初予算案

課題解決 先手先行予算

一般会計 **1兆 8,289 億 9,800 万円** 前年度比 +5.7 %

(全会計合計 **2兆 7,029 億 2,071 万 6 千円**) 前年度比 +5.8 %

同時提案

国の緊急経済対策に伴う補正(平成26年度2月補正)

一般会計 **92 億 594 万 9 千円**

地域住民生活等緊急支援のための交付金の活用
公共事業の追加

など

平成27年度当初予算案の体系



10年後の2025年に本県は、

- 生産年齢人口が51万人減少(2010年比)
- 団塊世代が75歳以上となり、医療・介護の需要が爆発的に増加



**先手先手で
対策を打つ**

通商産業政策の 地方分権化

次世代産業・
先端産業の支援

分散型エネルギー
社会の構築

超少子高齢社会を 見据えた施策

実効性のある
少子化対策

超高齢社会の到来を見据えた
社会保障の充実

三大プロジェクトをはじめとする 5か年計画12の戦略

埼玉エコタウンプロジェクト

埼玉版ウーマノミクス
プロジェクト

健康長寿埼玉プロジェクト

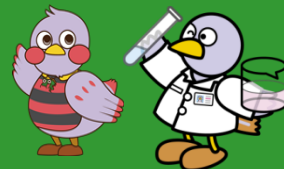
医療の安心

スポーツによる地域振興

企業の生産性向上

身近な安心・安全の強化

次世代産業・先端産業の支援



拡充 ◆先端産業創造プロジェクトの推進

18億7,400万円

研究機関や大学等の先端シーズ

+ 企業の優れた技術

= 先端産業の創造

先端産業研究サロン

助言、検証・評価等

実用化・製品化開発

<重点5分野>

- ① ナノカーボン
- ② 医療イノベーション
- ③ ロボット
- ④ 新エネルギー
- ⑤ 航空・宇宙

↓
事業化

↓
先端産業の集積

産総研・NEDO・
埼玉県の三者協定

技術支援・連携

産業振興・雇用機会
創出基金

開発資金

地元金融機関

融資

民間事業者

集積用地

■ 実用化・製品化開発

18億4,200万円

- ▶ 人材・技術・情報を埼玉に結集
- ▶ 産学連携による研究開発
(産総研、埼玉大等の先端シーズを実用化)
- ▶ 企業等の研究開発支援
(各分野に応じた多彩なメニューで支援)
- ▶ 企業支援のための環境整備
(先端産業支援センターの設置等)

■ 先端産業関連企業の誘致 3,200万円

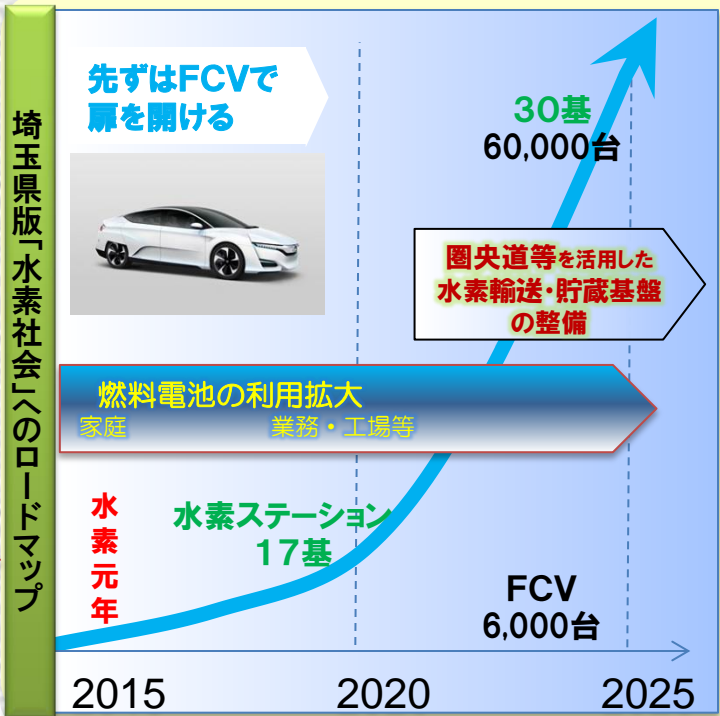
先端産業企業アンケート調査等



次世代エネルギー社会の構築

新規 ◆次世代エネルギー「水素」社会を見据えた取組

2億3,000万円



水素社会へのスタートダッシュ

1 燃料電池自動車と水素ステーションの好循環を創る！

- ◇ 燃料電池自動車（FCV）の導入支援
FCV購入費補助
100台×100万円／台

2 水素の聖地“埼玉県庁”をパワーアップする！

- ◇ 小型水素ステーションの整備
- ◇ FCVを公用車として導入

3 水素エネルギーの可能性を拓く！

- ◇ オフィスでの水素エネルギー利用可能性調査
- ◇ 下水汚泥からの水素製造可能性調査

水素社会実現に向け
トップランナーとして全国をリード

実効性のある少子化対策



新規 ◆多子世帯の保育料軽減
2億2,100万円 (2月補正)

新規 ◆多子世帯への住宅支援
7,600万円

新規 ◆男性不妊治療費の助成
4,100万円 (2月補正)



第1子
[小4]

【現行の国の制度】

保育所



第2子
[全額負担]



第3子
[半額負担]

保育所等に3人同時
に入所していない場合
保護者負担が発生



県単独補助を新たに実施

・第3子以降の満3歳未満児を対象に
保護者負担を半分に軽減
(対象者約2,500人)

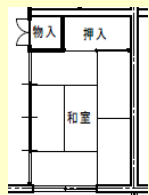
1 中古住宅取得・リフォーム支援

18歳未満の子が3人以上の世帯を対象に、
中古住宅の取得・リフォーム費用を
最大50万円 補助

●補助戸数(3年間)
住宅取得560戸、リフォーム300戸

2 県営住宅での取組

3DKの1室を簡易に改修し4DKに(10戸)



1室
3DK



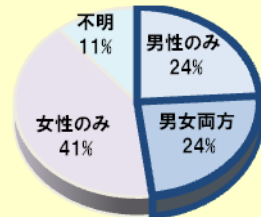
2室
4DK

その他

- ・建替えに併せた4DKの整備(8戸)
- ・隣り合う2戸をつなげ多子世帯に提供(10戸)

**不妊原因の
約半分は男性**

潜在的に非常に多い
「無精子症」



既存の不妊治療(体外受精、顕微授精)
補助額 上限15万円

+

男性不妊治療(精子採取術) **新設**
補助額 上限10万円

男性不妊治療の負担軽減



在宅医療提供体制の充実支援



4億9,300万円

安心して退院できる
仕組みづくり

● 在宅医療連携拠点の整備

往診医を増やす取組み

● 容体急変時の入院先確保

● 往診医登録

● 患者情報の共有

訪問看護サービスの強化

● 訪問看護師の人材育成

チーム往診で支える

在宅療養患者



在宅歯科医療提供体制の充実

● 在宅歯科医療の相談・調整

薬局による在宅医療支援

● 無菌調剤室の整備促進

平成30年度までに
県内全域でチーム往診を実現

埼玉エコタウンプロジェクト



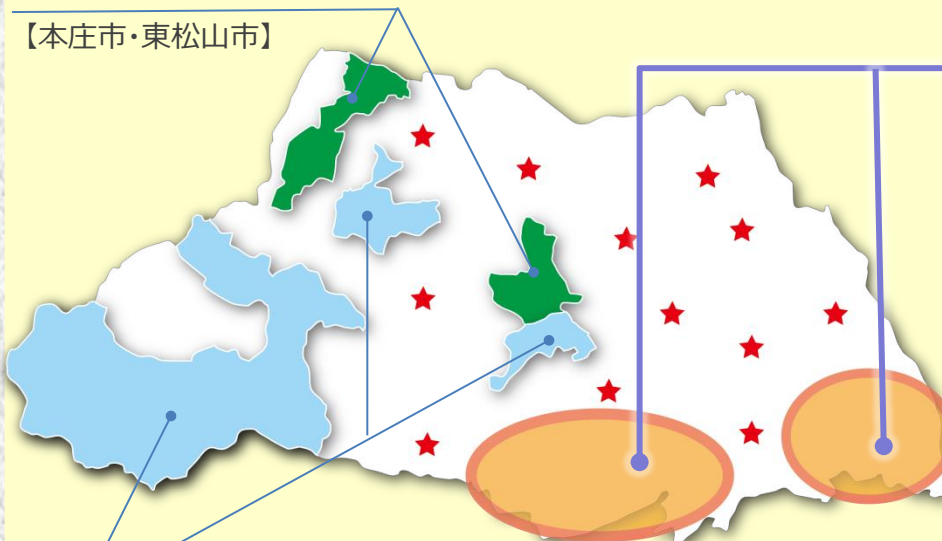
一部新規

◆埼玉エコタウンプロジェクトの拡大・進化

2億3,300万円

先行エコタウン

【本庄市・東松山市】



イニシアティブ・プロジェクト

【秩父市・坂戸市・寄居町】

新 展開エコタウン

新たなモデル市町村を選定

既存住宅スマートハウス化を展開 1億4,600万円



人口密集地域を対象に新しいモデル市町村を選定し既存住宅のスマートハウス化を展開

新 ミニエコタウン

民間事業者との協働による「ミニエコタウン」の推進

4,100万円



ハウスメーカーとの協働で「ミニエコタウン」ビジネスモデルを構築し県内各地で推進

埼玉版ウーマノミクスプロジェクト



1 働きやすい環境の整備

新規 ◆女性が活躍するフィールドの拡大



地域の経済団体や
建設業、運輸業など女性が少ない
業界団体と連携して企業の取組を
支援 2,000社(20団体) 2,200万円

◆多様な働き方の推進 2,300万円

短時間勤務やフレックスタイムなど、
多様な働き方実践企業を認定
【目標：H27年度末までに2,000社】

◆保育サービス受入枠の拡大 (6,000人分)

88億2,900万円
認可保育所、企業内保育所など

2 女性の就業・起業支援

一部新規 ◆在宅ワークの推進

在宅ワークを希望する女性への支援と
中小企業とのマッチング

3,700万円

◆女性キャリアセンターでの就業支援

就業相談・職業紹介、就職支援セミナー、
職場体験・見学の実施など 【目標：就職確認者数 1,500人】

1億4,200万円

3 消費拡大・情報発信

新規 ◆「輝く女性応援団」によるウーマノミクスの発信



発信力のある企業経営者や女性起業家が
「輝く女性応援団」となり、ウーマノミクスをPR
目標：1,000社 1,000万円

アタックNo.1
©浦野千賀子・TMS

健康長寿埼玉プロジェクト



平成24～26年度

平成27年度～

「健康長寿埼玉モデル」の構築

成功の方程式

みんなで
参加する・続ける・コラボする

推奨プログラム

- 毎日1万歩運動
 - 筋力アップトレーニング
- +
- バランスのよい食事

市町村を後押し

全県へ普及・拡大

1億5,300万円

- ◆ 初期費用等を補助
1市町村上限500万円(20市町村程度を予定)
※加算補助制度あり
- ◆ 国保調整交付金の配分
事業を評価し、成果に応じて配分
- ◆ 成功の秘訣をマニュアル化し、市町村に提供



健康寿命の延伸

医療費の抑制

健康長寿サポーターの養成・活用

モデル普及・拡大の下支え

26年度
30,000人

健康意識を高め健康づくりの機運を醸成
県民100人に1人をサポーターに！

1,100万円

32年度
目標75,000人



医療の安心

これまでの取組

重症以上患者の受入照会4回以上
全国ワースト2位
(平成24年 10.4%)



**タブレット端末導入
などによる改善**
重症以上患者の受入照会4回以上
△14%削減



**搬送困難事案の
解消に向けた
さらなる体制の強化が必要**

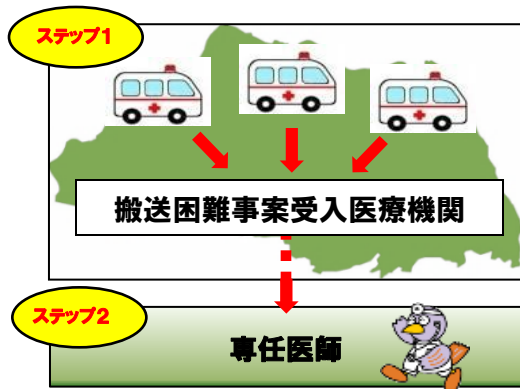
◆救急搬送患者受入体制の強化

3億3,200万円

埼玉版ER体制の構築 (入口)

拡充

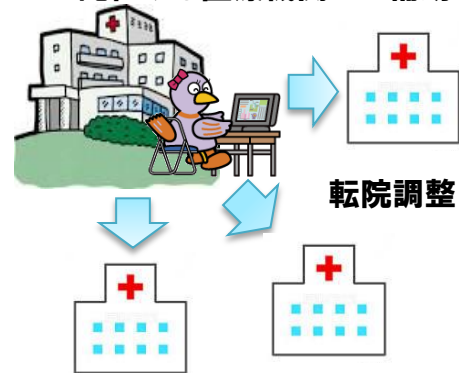
- 重症以上受入照会3回以内 (専門性の高い症例を除く) → **受入医療機関 4→12か所**
- 受入照会9回に達した場合 (全ての患者) → **専任医師による搬送調整**



新規

後方支援体制の強化 (出口)

- 救命救急センター等からの**転院受入医療機関**への補助
- 転院コーディネーター**を配置する医療機関への補助



平成28年までに搬送困難事案を一掃

スポーツ・オリンピック関連



新規 ◆スポーツを活用した地域振興
6,700万円

埼玉の魅力発信！国際女子マラソン&埼玉EXPO

・国際女子マラソン大会の共催

・大会時に
イベントブース開設
(B級グルメなど)



芸術文化&スポーツによる健康増進事業

・博物館・美術館等の利用者にスタンプカードを配布
・スタンプが貯まると、スポーツクラブ無料券などの特典提供

埼玉スポーツ情報ポータル

・県内のスポーツ情報を一覧できるポータルサイトの開設

新規 ◆東京オリンピック・パラリンピック
文化プログラム育成プロジェクト 1,800万円

1万人のゴールド・シアター&ネクスト・シアター

さいたま
ゴールド・シアター

さいたま
ネクスト・シアター



平均年齢75歳の
演劇集団

演劇界の未来を担う
若者演劇集団

総合演出 蜷川 幸雄 氏

県内外から10,000人が参加



企業の生産性向上



1 経営革新の推進

拡充

- ◆商工会議所・商工会による一貫した経営革新計画取組支援
60団体（2年間） 5,300万円

- 経営革新計画策定支援塾
- 専門家派遣 など



新規

- ◆経営革新計画促進融資の創設
融資枠50億円

- 経営革新に積極的に取り組む中小企業を資金面から支援

中小企業経営力の向上

2 地域商業の活性化

- ◆繁栄する商店街と商店のしくみづくり 6,200万円

- 新規 ○黒おび商店街の活性化
- 新規 ○空き店舗情報サイトの構築
- 街バル等のイベント支援 など

3 サービス産業の振興

- ◆サービス産業事業者への支援強化 1,600万円

- 新規 ○健康関連サービス産業の支援
超少子高齢社会に対応したビジネスモデルの発掘、連携の促進
- 高齢者向けレストランや食育教室などの新サービスの創出支援と地域での事業者応援

身近な安心・安全の強化



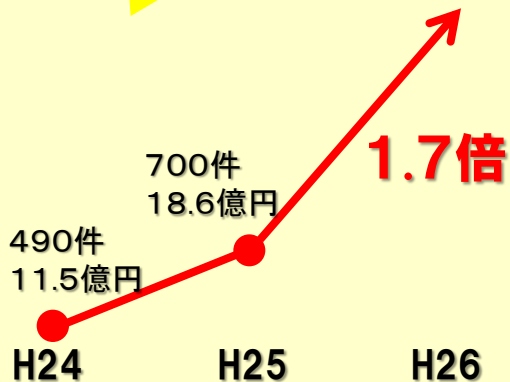
一部
新規

◆振り込め詐欺シャットアウトプロジェクト

2億4,200万円

急増する被害

被害件数 **1,158 件**
被害額 **32億4,000万円**
(平成26年1~12月)



県民総ぐるみによる被害抑止対策

(以下は取組の一部)

新規 振り込め詐欺抑止対策員の配置

金融機関と連携した水際防止対策 **14人**

拡充 コールセンターの拡充

13人体制 ▶ **26人体制**

新規 自動警告付き通話録音装置の普及

被害多発市の高齢者世帯 **1,000世帯**へ配布

この他、コールバック訓練の実施、高齢者向けの啓発DVD制作など





地域住民生活等緊急支援のための 交付金を活用した取組

58億1,800万円

1 地域消費の喚起

47億7,800万円

- ◆市町村発行の商品券へプレミアム分を上乗せ
- ◆県内農産物対象のプレミアム付商品券の販売



2 魅力ある観光の推進

3億1,400万円

- ◆プレミアム付物産観光券を発行し、県外から観光客を誘致



3 出産・子育ての応援

3億5,900万円

- ◆小児・周産期の専門医を目指す若手医師の確保
- ◆第3子以降(3歳未満児)の保育料を軽減



4 創業支援・販路開拓

6,400万円

- ◆女性の新たな視点での創業により県内経済を活性化
- ◆経済発展の目覚ましいイスラム諸国への化粧品販路を拡大
- ◆2020年オリンピック・パラリンピックに向けた夏の花需要の創造・開拓

5 安定した雇用の創出

2億8,400万円

- ◆介護資格の取得サポートで就労を支援
- ◆企業のニーズと求職者の持つスキルをマッチング

